

子ども多文化共生センター通信(テラたま通信)

Multicultural Children's Center News

第82号

発行元 子ども多文化共生センター (Tel. 0797-35-4537)

発行日 2022(令和4)年3月23日(水)

ホームページ <http://www.hyogo-c.ed.jp/~mc-center/>



テラたま
(イメージキャラクター)

2021年度も早いもので残りあとわずかとなりました。今年度は昨年度に引き続いて2年連続で新型コロナウイルスの対応に追われる1年となりました。昨年の秋にようやく収束するかと思いましたが、オミクロン株の拡大でますます先行きが見通せなくなってきました。いつまでこの生活が続くのでしょうか。とはいえ、この1年、コロナ禍ではありますが、二つのオリンピック・パラリンピック(夏季東京大会と冬季北京大会)が行われ、スポーツをとおして世界のつながりを実感した人も多いのではないのでしょうか。来年度こそ、コロナが収束し、子どもたちがのびのびと安心して日常生活を送れるように願っています。

『データでよみとく 外国人”依存”ニッポン』

(NHK取材班 光文社新書)

改正出入国管理法が2019年に4月から施行され外国人の受け入れが進む日本。現実に街のコンビニや飲食店で外国人の店員を見かけることもそう珍しい光景ではなくなっている。この2年のコロナ禍でインバウンドの観光客はめっきり少なくなったが、日本に生活している外国人が増えてきていることを実感する人も少なくないだろう。日本は移民政策をとっていないのになぜなのか?この疑問から、NHK取材班は政府が公表している各種データを細かく分析することによってその真相に迫っている。そこからわかってきたことは、日本社会はある意味既に多民族化しているということである。茨城県の野菜や広島県のカキなどの具体的な事例も挙げ、実態に即して分析することによって、今や外国人労働者なしでは成り立たないこの国の現実が明らかとなっている。

★2021年度多言語相談員派遣事業を振り返って

今年度3年目になる多言語相談員派遣事業ですが、おかげさまで、県内のたくさんの小中高、特別支援学校に多言語相談員を派遣し、来日間もない、日本語の理解が十分でない保護者の方を支援させていただきました。この事業は、保護者面談、教育相談等、保護者への通訳を必要とする場面に、子ども多文化共生サポーターのうち、派遣を希望する方を「多言語相談員」として、県内の通訳を必要とする学校へ派遣させていただくものです。今年度は県内各学校において認知が進んできたこともあり、派遣実績は昨年度に比べ大幅に増加し、のべ173回(人)11言語にもなっています。(3月22日現在)昨年度は119回(人)、14言語でした。学校現場からは、「継続的に対応していただいたことで学校との信頼関係が生まれ、保護者は救われた思いでおられるようだ。」

「通訳の方が生徒の実情をよく把握されており、進路にかかわる手続きの説明には多言語相談員さんの存在が大きい。」「保護者にとって懇談の内容がよくわかり、有意義な時間を過ごせたようだ。」など、感謝の言葉をいただいています。引き続き来年度もこの事業を児童生徒の支援のためにご活用ください。



★センター所蔵資料の展示を行いました



3月1日（火）から15日（火）までの2週間、神戸市営地下鉄県庁前駅のショーウィンドウにセンター所蔵の資料を展示しました。スペースの都合上、民族衣装、民族楽器などごくごく一部を展示しただけですが、通勤・通学で行き交う人々の中には足を止めて興味深く見入る人の姿も見られました。

センターには世界各国の資料がたくさんあります。子ども多文化共生教育に役立つ書籍などもあります。貸し出しもしていますので、是非ご活用ください。また、民族衣装、世界各地の楽器、玩具などお持ちでしたらセンターに寄付をお願いします。

★民族楽器の紹介 二胡（中国）



二胡は胡弓とも呼ばれ中国古来の楽器で、その歴史は1500年以上もあります。中国ではもっともポピュラーな楽器として愛されています。外弦と内弦2本の弦が張っており、左手で押さえて音階をつくり、右手はヴァイオリンのように、馬の尾の毛を張った弓で弦をこすって音を出します。音を聞いていただけなのが残念ですが、深く哀愁を帯びた音色で、心にじんわり染みわたるような響きをしています。20年ほど前、この楽器を弾く「女子十二楽坊」という中国の女性音楽グループが紅白歌合戦に出場したことを覚えておられる方もいるのではないのでしょうか。

子ども多文化共生センター 芦屋市新浜町1-2

TEL : 0797-35-4537 FAX : 0797-35-4538 E-mail : mc-center@hyogo-c.ed.jp

ホームページから様々な情報を発信しています。http://www.hyogo-c.ed.jp/~mc-center/

外国人児童生徒の支援、子ども多文化共生教育に関わることなどについて、お気軽にご相談ください。

来年度も子ども多文化共生センターをよろしくお願いいたします。